

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の事業の概要

○法人の管理運営

1. 私立学校法等改正に対応した学園の運営体制の点検及び充実に努めました。
2. 「経営改善計画」の着実な実施による財政基盤の安定を図りました。
3. 「学園創立100周年記念事業」を推進し、学園併設校間の連携をより深めました。

○兵庫大学・兵庫大学短期大学部

1. 事業方針

「Vision2024（第3次中期計画）」（計画期間：令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）に基づき、今年度の事業計画を策定しました。

2. 事業計画

- (1) 建学の精神の浸透と実践を行うため、次の取組みを行いました。
 - ① 建学の精神の醸成のためのシラバスへの反映
 - ② 建学の精神の視覚訴求機会の増加
 - ③ 建学の精神関連科目のテーマ及び方向性の統一
- (2) 建学の精神に基づく人材の育成のため、次の取組みを行いました。
 - ① 共通教育科目のカリキュラムの整備
 - ② 建学の精神に触れる機会の増加
 - ③ 学生の希望に沿った質の高い出口保証
 - ④ 学生面談システムの確立
- (3) 教育の質保証改革の推進のため、次の事業を行いました。
 - ① 教学アセスメントの実効化
 - ② 客観的かつ厳格な成績評価への取組み
 - ③ 「HUsystem」の試験運用の完了
 - ④ 教員養成課程強化のための教育学部の設置準備
 - ⑤ 学内情報ネットワークシステム(HUMANS 2021)の稼働に向けた準備
 - ⑥ 施設・設備の総点検と年度別整備計画の完成
 - ⑦ 「留学生センター（仮称）」設置に向けた準備
 - ⑧ 「障がい学生支援オフィス」の設置及び運用
- (4) 研究水準及び研究成果の向上のため、次の事業に取り組みました。
 - ① 研究生産性の計算方法の確立のための現状把握と検証体制の構築
 - ② 研究活動活性化のための支援方策の検討と実施
 - ③ 研究学会の確立と学術集会の開催

- (5) 高大接続の強化を行いました。
 - ① 附属校との SDGs を盛り込んだ探究学習の教育連携強化
 - ② 連携協定校との探究学習活動のパッケージ化
- (6) ブランド力の強化のため、次の事業を行いました。
 - ① 入学定員の確保
 - ② 公式サイトによる発信力の強化
 - ③ SDGs 計画の策定及び推進
 - ④ 同窓会支援体制の充実・強化
- (7) 地域社会との連携強化に取り組みました。
 - ① 履修証明プログラムの導入、リカレント教育プログラムの導入、充実
 - ② 地域プラットフォーム事業実施に向けた体制構築
 - ③ PBL 型授業の推進
- (8) 経営・ガバナンスの強化に取り組みました。
 - ① 組織のスリム化に向けた原案作成
 - ② 教職員の人事考課の改正
 - ③ PDCA サイクルによる内部質保証の実効化
 - ④ 寄付金事業の展開

○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

1. 主体的・対話的で深い学びを実現する教育の実践を行うために、次の事業に取り組みました。
 - (1) Society5.0 時代の学びの実現に向けての ICT を活用した教育の展開準備
 - (2) これからの社会や時代の要請にこたえ未来を切り拓く女性の育成
 - (3) 兵庫大学・短期大学部との高大連携強化
 - (4) 生徒指導…自己指導能力の育成
 - (5) 宗教を通しての情操教育の充実
 - (6) 国際的視野の育成
2. 生徒募集活動の強化（生徒数、県内女子校 No.1 に向けて）のため、次の取り組みを行いました。
 - (1) 教職員の意識改革（生徒募集活動の重要性の再認識）
 - (2) 志願者数回復（増加）に向けた生徒募集戦略の展開
 - (3) 生徒募集結果の分析と検討
 - (4) オープンキャンパス等の特色化
 - (5) オープンキャンパス・学校説明会における兵庫大学との連携強化

- (6) 中学校・塾への募集活動に対応できる若手教員、女性教員の育成
 - (7) 外部環境、他校状況を十分に踏まえた上での学納金の変更
 - (8) 卒業生ネットワーク活用による優遇制度の確立
3. 教育内容の多様化に対応する教員の教科指導力の向上のため、次の取組みを行いました。
- (1) 保護者及び生徒対象のアンケートの実施とアンケート結果を踏まえた改善サイクルの構築
 - (2) 教員の教育力向上の為の校内研修の充実と校外研修への積極的な参加促進
 - (3) 管理職による授業巡回と指導・助言、模擬授業等の勉強会の活性化
 - (4) 新任教員研修の実施及び中堅教員対象リーダー養成研修の内容の充実
 - (5) タブレット貸与による業務の効率化で生徒と向き合う時間を確保
4. 将来を見据えた組織的学校経営の構築のため、次の取組みを行いました。
- (1) マネジメント機能の強化
 - (2) 部長・統括・コース長のリーダーシップによる組織の活性化
 - (3) 中堅教員の主要ポストへの登用と幹部候補教職員の育成
 - (4) ハラスメント防止の為の教職員の意識の醸成と定着化（認識の再確認）
 - (5) 組織を維持するための募集定員規模・コース編成や教職員定数の検討も含めた中長期を見通した将来構想の検討
 - (6) 外部環境や他行状況を踏まえた上での授業料・入学検定料変更の検討
 - (7) 経営改善計画終了(2022年度)以降の修繕、施設・設備等の投資計画の検討

○神戸国際中学校・高等学校

1. 基礎学力の定着と応用力を育み、生徒の進路実現を図るため、次の取組みを行いました。
- (1) 授業の工夫・改善と充実に努めると共に、丁寧な学習指導、家庭学習習慣の確立により、基礎学力の定着
 - (2) 各教科、新学習指導要領に対応した授業・評価の確立及び生徒の現状に即した6年間の教科指導計画並びに各学年目標を設定
 - (3) 丁寧な生徒からの質問対応に努め、生徒の学習意欲の高揚
 - (4) ICT教育及びアクティブラーニングを推進し、学力の三要素を効率的に習得
 - (5) トワイライトレクチャーや長期休業中の補習をより効果的に工夫・改善
 - (6) 進路ガイダンスを計画的・効果的に実施し、早期の目標設定と進路意識の高揚
 - (7) 6年間の進路指導計画にコンサルテーションを取り入れ、より充実した指導

計画を作成、実践

- (8) 新コース設置については絶対に失敗は許されない事であり、受験生・保護者・塾・近隣校などの情報収集に努め、引き続き検討
2. 21世紀のグローバル社会で活躍する人材を育成するための取組みは、次の通りです。
 - (1) 英語の4技能の習得とCEFR - B1・B2レベルの資格取得及び積極的に校外のスピーチコンテストへ出場
 - (2) コロナ禍における語学研修（海外・国内）の在り方を工夫・検討すると共に、日本の伝統文化の理解とオンラインを活用した国際交流を推進
 - (3) コロナ禍においての海外留学や海外留学生の受け入れの在り方を工夫し、実施
 3. 教職員の資質・能力の向上を図るため、次の取組みを行いました。
 - (1) 校内教職員研修会の定期的な実施並びに積極的に校外研修会へ参加させ、新学習指導要領に対応した授業・評価の在り方や新たな指導方法を習得
 - (2) 毎学期の管理職や教員相互の授業見学、生徒授業アンケート等を実施し、授業力・指導力の向上
 - (3) 教育相談体制を充実させると共に、教職員の生徒理解に基づく生徒指導力の向上
 4. 教職員が一丸となって学校が抱える諸課題の克服に取り組みにみました。
 - (1) 生徒・保護者の満足度を上げる教育活動を工夫・改善し、実践
 - (2) 教職員一人一人が危機感を持って諸課題を克服する方策を提案
 - (3) 報告・連絡・相談の徹底及び情報の共有化を図り、風通しの良い職場環境を確立
 5. 本校の取組みを分かりやすく、効果的に伝える生徒募集活動を実施するために次の取組みを行いました。
 - (1) 全教職員の共通理解、協力体制のもと各種生徒募集活動を効果的に実施
 - (2) 県内の主要な学習塾や中学校との信頼関係を更に強固に
 - (3) タグラインの活用やポスター・チラシなどの紙媒体の広報を工夫・改善すると共に、HPをはじめSNSを活用した効果的なPRの在り方を検討し、実施
 - (4) 中学・高校入試の日程や内容等を工夫・改善すると共に、特待生制度の見直し
 - (5) ナイト説明会をより効果的なものにするために実施会場や時期を工夫し、実施

○兵庫大学附属須磨幼稚園

1. 募集戦略・広報活動の強化策として、次の取組みを行いました。

- (1) イマージョンクラス（英語中心のクラス）
 - (2) さくらんぼ学級の人数を増員
 - (3) ひよこ学級の充実
 - (4) 特養ホームとの交流
 - (5) 地域行事に参加
 - (6) 学校評議員会との連携
 - (7) 地域への発信
 - (8) ファミリーガーデンの地域開放の実現
 - (9) 子育て支援として教育相談の充実（保護者の支援）
2. 体験学習の充実・近隣幼稚園との違いを明確化のため、次の取組みを行いました。
- (1) 高校の充実した施設を活用しての行事活動の情報発信を工夫
 - (2) ファミリーガーデン（第2園舎）の整備と活用年間計画の実施
 - (3) えんじョイルームを活用と設備の充実
 - (4) 幼小連携として西須磨小学校他関係校との交流
 - (5) 私立須磨浦小との交流
3. 大学附属幼稚園としての特色づくりを行いました。
- (1) 大学と連携して、個別教育計画（IEP）の実践と研究
 - (2) 教育実習生の受け入れ
 - (3) 教育内容の充実
 - (4) 指導力を高めるための研修の充実

○兵庫大学附属加古川幼稚園

1. より質の高い保育の提供を目指すため、次の取組みを行いました。
- (1) 教育内容の拡充
 - ・運動遊びの充実
 - ・自然環境を生かした体験活動の充実
 - ・心身の発達を促す健康安全教育、食育の充実
 - (2) 教職員の指導力の向上
 - ・教職員の資質・指導力向上を図る研修の実施
 - ・大学と連携した幼児教育研究、実践の推進
 - ・保護者との信頼関係の構築と、保護者対応のスキルアップ
 - (3) 教育環境の整備
 - ・自然環境、大学敷地内にある環境を活かした施設、設備の整備

- ・園支援アプリ、ホームページ、広報紙等による情報発信の改善
- ・保護者会との連携を深め、関連する事業内容の充実

2. 地域に愛される取り組みは、次の通りです。

(1) 地域に開かれた幼稚園

- ・「校区ユニット」との連携を図り、幼小接続を推進
- ・近隣小・中学校、および地域活動との交流

(2) 子育て支援の充実

- ・ひよこクラブ、さくらんぼ学級の継続的な運営に加え更なる子育て支援の充実
- ・預かり保育、親子学級の内容充実
- ・魅力ある課外クラブの計画的な運営